

中学校【国語】正解・解答例

問一	A	体罰	B	普通教育	C	つかさどる
問二	イ					
問三	⑤					
問四	A	具体	B	抽象	C	朗読
	F	図表	G	展開	H	効果
					I	言語活動
					D	調和
					E	目的
					J	出典

配点：問一～問三 各2点×5、問四 各1点×10

20点

問一	(一)	はんぷ	(二)	ちゅうよう	(三)	さかのぼ
	(四)	穩便	(五)	示唆	(六)	破綻
問二	エ					
問三	(一)	オ	(二)	ア	(三)	カ
問四	(一)	爪	(二)	矢		
問五	(一)	壮	(二)	衷		
問六	(一)	エ	(二)	ア	(三)	イ
問七	(一)	未然形	(二)	連体形	(三)	連用形
問八	(一)	動詞	(二)	連体詞	(四)	連用形
問九	ア					
問十	(一)	帰省・夏	(二)	雪残る・春		
問十一	(一)	過猶不及	(二)	冀復得兔	(三)	七十而從心所欲不踰矩

配点：問一～問六 各2点×17、
問七～問十一 各3点×12 (問十、問十一は完答)

70点

問一	④	まぬか	⑥	看過
問二		果たすこと		難される。
問三		他者との関係から独立してなしたのではない行為がある、という現実。(三十二字)		
問四	エ			
問五		強い責任が通用することにより社会の基盤が維持されていること。(三十字)		
問六	ウ			

配点：問一～問五 各5点×6、問六 4点

34点

四

問一 ㉔ 名詞 ㉕ 副詞

問二 京の短歌と同じ思いを表現した自分の句で、俳句の魅力を京に伝えたいという覚悟を決めている。(四十四字)

問三 日々

問四 感情を直接出す言葉を使わずに、行為にそのときの感情や思いを込める表し方。

問五 歳時記

問六 自分の思うところと一致して満足する。

問七 思いもしなかった「日記買ふ」という言葉が季語であり、その五音に、自分の過去とこれからの未来のどちらも受け入れる思いと、年の瀬の空気や新しい年への期待が詠まれていることを知ったから。

問八 俳句は短歌の代わりにはなれないと思っていたが、河野の話聞くことで短歌とは異なる俳句の魅力に興味を持ち、「俳句甲子園」に出場してもよいという気持ちになった。

配点…問一・問三・問五・問六 各3点×5、問二・問四 各4点×2、

問七・問八 各5点×2

33点

五

問一 おもうよう

問二 どうしようもない

問三 角が立派過ぎて、木の枝が分かれた所に引っかけり、抜けなくなってしまうため。

問四 さても く からず

問五 人間関係において、手厚く扱い、目をかけてきた者が敵となったり、嫌ってよそよそしくしていた者が助けてくれたりするものである、ということ。

問六 イ

配点…問一・問二・問六 各3点×3、

問三・問五 各5点×2、問四 4点

23点